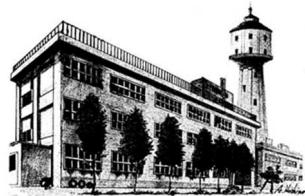


令和7年10月16日発行

新潟県立長岡聾学校 学校だより

はくちよう



〒940-0093 長岡市水道町2-1-13 TEL 0258-32-1007

日本の将来を支える長岡聾学校の伝統

教頭 田邊 豊

近年、国籍や年代を問わず繋がることのできるSNSの発展は目覚ましく、世の中を動かす勢いがあります。反面、現実の人間関係における繋がり、特に違う世代間での繋がりが希薄になってきている印象を受けます。私の住んでいる地域でも、あいさつやちょっとした会話こそそれ、年配の方々（または、若い世代の人たち）との繋がりは薄くなっています。

そんな中、私は長岡聾学校の児童生徒の様子を見て、大きな感動を覚えました。

具体的に、運動会のダンスを例に挙げてお話しします。

ダンスの練習は、高等部生徒会から始まります。練習計画を話し合い、お手本の示し方を考え、伝達準備をします。この時、ダンスリーダーと他の児童生徒とで振付を変える等の工夫を凝らしています。

次に、ダンスリーダー以外の児童生徒にダンスを教えていきます。この時もリーダーとしての役目を果たすのが、高等部です。当校の運動会を長く見てきた方々にしてみたら、当たり前の流れかもしれません、高等部、中学部、小学部が一つの発表に向けて一緒に練習する姿は、私にしてみれば、世代の枠を超えた素晴らしい関わり合いの姿でした。

高等部のリーダーたちは、どうしたら小学部の児童がダンスを覚えられるか、何度も実践と改善を行っていきます。そして、その熱意に応えるように、指導を受ける児童生徒たちも、指示やアドバイスに従って一生懸命練習していました。その間、命令や怒り声等は一切ありません。何という信頼関係でしょう。

さらに、運動会当日、幼児児童は、先輩たちが、堂々と自分の役割を果たしている姿を目の当たりにします。自分のやりたいことだからではなく、よい運動会にするために力いっぱい発表や運動をする姿は、幼児児童にとって、千の立派な言葉よりもよいお手本となったことでしょう。きっとこの子たちが、将来同じ年齢になったとき、自然にリーダーシップを發揮し、後輩たちと繋がり、目的達成のために素晴らしい活躍をしてくれると思います。これこそが、幼稚部から高等部までの児童生徒が一緒に学べる環境にある長岡聾学校の尊い伝統なのではないでしょうか。

人口減少が進む中、日本の未来をより良いものにするためには、国民が世代を超えて繋がり、問題解決に向かう必要があります。その姿を、実現できる長岡聾学校の伝統の継承にこれからも尽力していきます。

【各学部の様子】

幼稚部

今年度4月、幼稚部3歳児クラスに2人新入生が入学しました。かわいい後輩ができて、お兄さんお姉さんははりきって、優しく声を掛けたり手をつないだり、本当に頼もしい様子がいろいろなところで見られました。また、新入生2人もそんな先輩たちを見て真似をしてみたり、同じおもちゃを使って遊んだりしています。だんだん慣れてきて、学年をこえて一緒に遊ぶことも増えてきました。いつも、プレールームでは楽しく活動する明るい声が響き渡っています。

幼稚部では、1学期からこれまで様々な行事がありました。行事では、事前学習の中で「いつ、どこで、どんな」活動をするのかを、学年に応じて学習をしています。行事までの間、「早くやりたいな」とわくわくしながら楽しみにして、当日を迎えます。子どもたちはいつも目をきらきらさせて活動に取り組み、新しく覚えた言葉を自分なりに使いながら、経験したことを話してくれます。

そして、10月から3歳児にもう1人新入生が仲間入りしました。新しい友達が増えますますにぎやかです。幼稚部みんなで仲良くがんばるぞ！えいえいおー！



花火を作ったよ！



マリンピアにいったよ！



何ができるかな？



交通安全教室

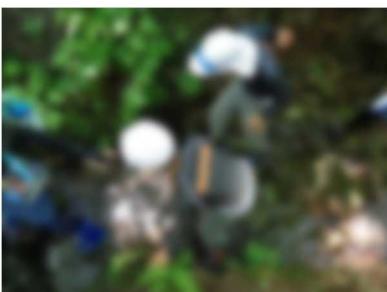
小学部

今年度の小学部は、1年生2人、3年生1人、4年生1人、5年生3人、6年生4人の11人で活動しています。各学年の人数は少ないですが、音楽や体育、道徳や総合的な学習等をはじめ、様々な場面で複数の学年が一緒に学習をし、その中で「社会性」「リーダーシップと責任感」「コミュニケーション能力」等の育成を図っています。

今年は2年ぶりに新1年生が入学し、毎朝教務室のドアを開けて「先生方、おはようございます」と元気な声を聞かせてくれています。3・4年生は総合的な学習の一環として学校の周りに度々出かけ、調べ学習を進めています。5年生は自然教室で妙高へ行き、源流体験やうどん作りを楽しみました。6年生の修学旅行は「佐渡」。砂金取りやたらい船への乗船、和太鼓体験を満喫しました。

また、他校との交流も盛んです。数十年以上続いている中島小学校との交流をはじめ、年2回の居住地校交流、福井ろう学校、石川ろう学校、よつば学園とのリモート交流を定期的に行ってています。特に聾学校同士の交流では、国語の授業を一緒に行ったり、自然教室や修学旅行の様子を伝え合ったりしています。

今後も、「将来に向け、今身に付けなければならないこと」と「たくさんの経験をとおして、『今』を楽しむこと」の2つを大切に、様々な活動に取り組んでいきたいと考えています。



源流体験



たらい船



中島小で水泳授業

中学部

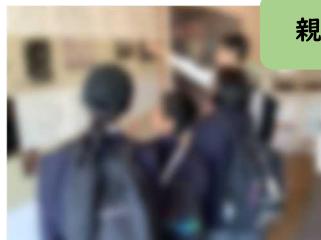
今年度は1年生5人、2年生1人、3年生3人の9人でスタートしました。質問を投げかけると素早く挙手して答えたい気持ちを前面に出す元気な1年生とそれを優しく見守る2、3年生。学年を越えて様々な活動に取り組んでいます。

総合的な学習の時間では、1学期に親睦会を行い、縦割りグループで課題を解きながら長岡市内を探索しました。予定を変更する必要があつたり道に迷つたりしながらも、仲間と協力することで達成感を味わい、長岡市の街のよさを発見する体験ができました。

また、2学期には進路学習の1つとして、「ろうの先輩の話を聞く会」を行いました。今回は、当校の教諭を講師として迎え、生い立ちや後悔、教員になったきっかけなどの話を聞きました。講師の言葉に勇気づけられたり、将来の進路実現に向けて、今やるべきことを考えたりする機会となりました。

現在は、文化祭に向けて生徒会企画の内容を考えています。作品鑑賞とともに、生徒会の企画も楽しんでいただけたらと思います。

親睦会



ろうの先輩の
話を聞く会



高等部・産業技術科

高等部は出口の学部です。1年生6名、2年生4名、3年生1名の計11名が基本的な学力を身に付け、自己の適性に合った進路選択ができるように日々の学習や部活動をはじめとする様々な活動に取り組んでいます。少人数ながらもお互いに意見が言い合える、明るく楽しい雰囲気が産業技術科の特徴です。

今年は夏休みに長岡市市民体育館で第69回北陸地区親善体育大会卓球大会（北ろう体）が行われました。男子団体では優勝、女子は高岡校との合同チームで三位、個人戦では男子生徒1名が三位に入賞しました。男子団体と個人戦で入賞した選手は11月に愛知県で行われる全国大会に出場します。北ろう体では地元開催ということもあり、多くの生徒保護者の皆様に応援に来ていただきました。ポイントを取る度に観客席から湧き上がる歓声は、選手にとって忘れられない光景となったことと思います。

2学期は進路行事が続くため、生徒一人一人「進路について考える」をテーマに活動しています。これからは文化祭の準備が本格的に始まります。来てくださった皆様が楽しめる企画を準備して待っています。是非、産業技術科の様子を見に来てください。よろしくお願ひします。



北ろう体の応援ありがとうございました！

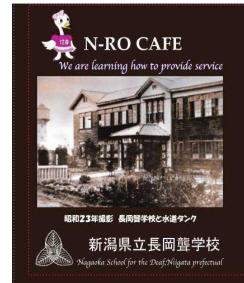


ユニオンツールでの企業見学

高等部・普通科

今年度の普通科は、1年生1名が入学し、2年生2名、3年生4名の計7名です。「働き続ける社会人」を目標として、様々な学習に取り組んでいます。その中で、職業生活Aの時間は、流通、接客、介護、清掃の4つの分野の仕事について学んでいます。4つの分野を通して、職業の適性を考えることと、仕事に必要な力（態度面や技術面）を学ぶことを目的としています。1学期は流通と清掃を、現在は文化祭に向けて接客の学習に取り組んでいます。

普通科では毎年文化祭でドリップバッグコーヒーの販売を行っています。販売活動に関わる学習を通して、「お客様に満足、喜んでいただける接客」について学習しています。接客の基本として、まず学習する内容はマナーです。身だしなみを整えることから始まり、挨拶や言葉遣い、表情や態度についても学習します。文化祭当日は学習の成果を発揮し、お客様に喜んでいただける接客でお待ちしております。ぜひお越しいただき、お買い求めください。



ウエイティングポーズとコーヒー提供の学習の様子です。

今年はこの2つのデザインを販売します。

長岡聾学校 文化祭

10月25日(土)
一般公開・作品鑑賞
9:30~12:00

秋空が広がり、過ごしやすい季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様、そして日頃から交流していただいている皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年も文化祭を開催いたします。文化祭は、日々の授業や部活動で子どもたちが探究してきた成果を発表し、いきいきとした学校生活の一端をご覧いただける大切な場です。

当日は、図工

や美術、家庭科、職業に関する力作の展示をはじめ、各学部が趣向を凝らした様々な企画を準備しております。

子どもたちも、皆さんとお会いできることを心から楽しみにしています。ご家族やご友人、お知り合いの方もお誘いあわせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

